



自然災害には十分注意しましょう

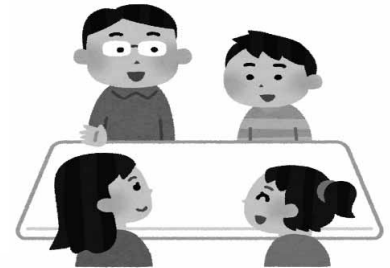
毎年この時期になると、台風および暴風雨などによる高潮や河川の氾濫、土砂崩れなどの自然災害が発生します。自然災害から身を守るためには、一人ひとりが災害に対して関心を持ち、いざという時に備えて日頃から準備をしていることが大切です。

また、台風時や集中豪雨時はもちろん、日頃からテレビ・ラジオなどで天気予報を確認して気象の変化に関心を持ちましょう。

—自然災害から身を守るために今できること—

◆防災について家族で話し合おう

- ①家族一人ひとりの役割分担を確認する
- ②家屋内外の危険箇所を確認して、補強などの対策をする
- ③非常持ち出し品を確認する
- ④緊急時の連絡方法や避難場所を確認する



【非常持ち出し品】

- 懐中電灯
- 非常食・水
- 携帯ラジオ
- 貴重品
- 救急薬品・常備薬
- お薬手帳 など



◆避難ルートを歩いてみよう

実際に避難所まで歩いてみて、危険箇所を通らないルートを確認しておきましょう。また、避難の際、非常持ち出し品はリュックなど両手が使えるものを用意し、なるべく夜の暗い時間帯の避難はせず、早めの避難を心掛けましょう。

事前に防災マップに目を通し、あらかじめ自宅周辺の危険箇所を把握して、災害を想定しておくことも大切です。



夏季特別警戒旬間実施中「8月1日(日)～8月10日(火)」

佐井消防分署では、日中・夜間問わずパトロールを実施するほか、黒岩海岸や願掛公園海水浴場へ看板設置などを行います。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

そして、これからの季節は外で過ごす機会が増えてきます。屋内外問わずスポーツや海水浴などの運動をする際には、こまめに水分補給し熱中症対策に心掛けましょう。また、花火をする際には水を入れたバケツを近くに用意するなど火の取扱いには十分注意しましょう。